

### 病院長メッセージ

「身体的拘束をできるかぎり減らすために」

南高井病院では、すべての患者さんの尊厳と安全を守ることを何より大切にしています。

身体的拘束は、患者さんの安全を守るために、どうしても他に方法がない、緊急やむを得ない場合に限り行うものです。

私は病院長として、身体的拘束の最小化に病院全体で取り組むことをここに宣言します。

そのために、次のことを進めていきます。

- ・身体的拘束の実施状況を定期的に確認し、結果を職員全員と共有します。
- ・拘束に頼らないケアの工夫や良い実践を、部署をこえて学び合います。
- ・患者さん・ご家族への説明と理解を大切にし、納得を得られるよう努めます。
- ・小さな一歩の積み重ねが、患者さんにとって大きな安心につながります。

一人ひとりの職員の皆さんの工夫と参加を、心からお願い申し上げます。

病院長 西尾 俊治

### 看護部長メッセージ

「現場のみなさんと一緒に、拘束に頼らない看護を」

看護は、患者さんの「その人らしさ」を支える仕事です。

身体的拘束は、患者さんの体や心に大きな負担となる場合があり、本来はできるだけ避けるべきものです。

看護部として、次のことに取り組みます。

- ・夜間や忙しい時間帯も含めて、拘束以外の方法を一緒に考え、振り返ります。
- ・身体的拘束に関する研修を実施し、判断に迷った時に相談しやすい体制を整えます。
- ・拘束を行った場合には、必ず理由と経過を共有し、「次はどうすれば減らせるか」をチームで話し合います。
- ・「大丈夫、一緒に考えよう」と言える職場でありたいと思っています。

困った時は一人で抱え込まず、ぜひ周りの仲間や看護管理者に相談してください。

看護部長 岡本成以子

## 「当院の身体的拘束の現状とこれから」

当院では、身体的拘束の最小化に向けて、定期的に現状を確認し、改善に取り組んでいます。  
今年度の入院患者さんに対する身体的拘束実施率の推移は、次のとおりです。

期間 拘束率 一言コメント

2026年2～4月 療養病棟（3.5.6病棟） 2.67%

2026年2～4月 障害者病棟（1.2病棟） 6.11%

これからも、患者さんの安全を守りながら、身体的拘束にできるかぎり頼らない医療・看護を、  
職員一同で目指していきます。